



お江戸舟遊び瓦版 1098号

水彩都市江東 ころこ美しい日本の再生 安全・安心まちづくり
お江戸観光エコシティ・お江戸舟遊びの会 江東区千田 13-10

みどりのカーテン講習会

日 時：2025 年 4 月 29 日、5 月 3、4 日

所：江東区環境学習情報館「えこっくる江東」
江東区文化センター、亀戸文化センター

主 催：えこっくる江東

運 営：江東エコリーダーの会

温暖化の進む夏の気候を少しでも緩和するために温暖化対策として広がる緑のカーテンを多くの人に啓蒙するために開催された。

1. 「地球温暖化防止・省エネエコライフとみどりのカーテン」 樹木医：池田利行

1970 年以降気温が上昇し、ヒートアイランド・大雨・干ばつ・海面上昇となっていてしまっている。対策には、CO2 排出抑制・省エネが必要で、みどりのカーテンが効果的だ。

緑のカーテンの仕組み

植物は水がめで、葉で気化熱が生じ、蒸散する。

みどりのカーテンの効果

熱エネルギーを約 60%低減（遮蔽・気化）

日中のエアコン消費電力を約 30%削減

室温を平均 1℃～1.6℃低下

※熱中症の注意は必要：適度に扇風機や

エアコンを使用、窓開けはグリーンカーテンと反対側の日陰活用を。

2. 「みどりのカーテン」で健康になろう！ 千葉大学大学院 環境健康学 岩崎寛

現在社会は複合的なストレス負荷の高い時代。医療福祉分野では、高度医療から予防医学への流れ、緑が人に与える健康機能に対する期待が高まっている。

緑と触れ合うことで健康になる？！～そのメカニズムとは～

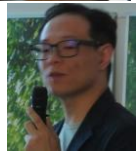
人は様々な環境変化に対し、生体内の状態を一定に保って生存を維持し、これを恒常性（ホメオスタシス）と呼ぶ。この恒常性は神経系、免疫系、内分泌系の 3 つの系の相互のバランスで維持されており、バランスが崩れると不調になるが、緑と触れ合う＝植物によるストレス緩和により恒常性の正常性が保たれるのは・・・恒常性の力？

みどりを育てること、収穫する喜びを：いちご狩り等等。

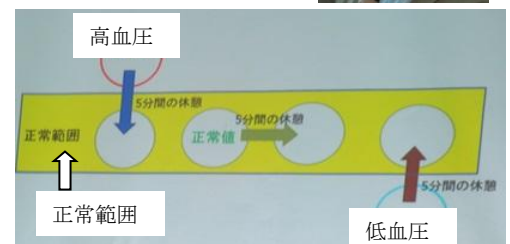
3. 植え方、育て方、メンテナンス WS 江東エコリーダー会員

みどりのカーテン枠の組み立て、土づくり、苗の植え方、肥料や水のやり方、防虫や鳥対策等の作業の講習が行われた。マンションなどのベランダでは階下への落下などを十分に配慮するとともに、高い階では雄花の花粉を雌花に受粉させるようによく観察し、対処するよう指導された。

所感：健康効果一杯の園芸作業「みどりのカーテン」に仲間入りし、家族みんなで、涼しい夏を楽しみましょう！



ヒートアイランド現象の仕組み



緑地での 5 分間の休憩で、血圧を元の正常な値に近づける。ラベンダー・緑地とも同じ。



荒川河口新砂干潟クリーン作戦+観察会

日時：5月11日9時～14時

所：えこっくる江東、 荒川河口新砂干潟
主催：えこっくる江東 担当：エコリーダーの会
えこっくる江東で干潟の成り立ちや野鳥と魚の話
を聞き、その後、バスで新砂干潟に移動した。

潮汐は、大潮の干潮で一文字堤に鳥たちがたくさん
とまっていた。

先ず野鳥の観察、次に散乱する海洋ゴミを皆で拾
い、干潟の生物観察、投網による魚調査を行った。

野鳥観察では、ダイサギ、アオサギ、コサギ、カワウ、チュウシ
ャクシギ、カルガモ、アオアシシギ、キョウジョシギ、コチドリ、
イソシギ、オオヨシキリの11種の野鳥が観察された。

魚介類は、スズキ、ボラ、マハゼの子、コメツキガニ、ケフサイソ
ガニ、スジエビモドキ、ヤマトオサガニが観察された。子供達はカニ
等を手にし、自然の楽しさ・素晴らしさを強く感じていた。



先ずは室内講義



バスで新砂干潟へ



最初は野鳥観察



皆で干潟のゴミ拾い



ゴミの分類確認



一文字堤の鳥たち(カワウ、アオサギ)



干潟の生物観察



投網で魚の調査



魚介類の解説

所感: 自然を忘れがちな時代になっているが、地元の緑の拡大と地球温暖化対策にみどりのカーテン、
一方、子供たちとの地元の荒川河口新砂干潟の観察会等エコライフ行事を楽しんだ。 (文責 中瀬)